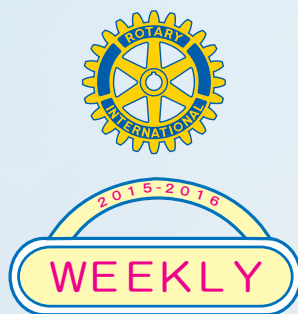


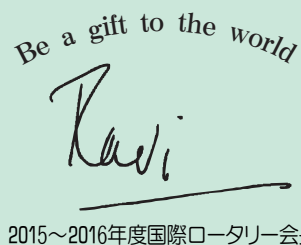
# 伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔  
伊予三島運動公園「産土の塔」

## 世界へのプレゼントになろう

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内  
 http://www.iyomishima-rc.jp TEL (0896) 58-3530  
 E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX (0896) 58-6294  
 例会 金曜日 12:10~13:10  
 ■会長/中野 哲 ■幹事/山内一正 ■広報委員長/園部忠幸



No.14  
 平成27.10.2  
 第2954回

## ガバナー補佐訪問 ( クラブ協議会 )



ガバナー補佐 菅 道 男

大変貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。  
 今年度ガバナー補佐をおおせつかっております、今治南ロータリークラブの菅道男と申します。皆様のご協力を得て、伊予三島ロータリークラブと地区とのパイプ役になり、少しでもお役に立つ事が出来ればと、思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、今年度の最初の事業であります、「短期交換の事業」を、皆様のご協力で、無事終えることができました。特に、このクラブから、交換学生の応募をいただき、受入では、大変お世話になりました。

地区の青少年奉仕委員会、新世代小委員会の委員として、高岡 淳 さんが、地区に出向していらっしゃいます。

また、研修リーダーとして、元ガバナー補佐の大西 直方さんが、選ばれています。中野会長の運営方針にもございますが、元ガバナー補佐であり、研修リーダーの、大西 直方さんを中心に、もう一度、ロータリーの原点を勉強されるようで、ますます、発展されるクラブだと、確信をいたしております。

さて、ガバナー事務所より、本年1月18日から24日まで、アメリカのサンディエゴで開催した国際協議会の演説の模様を、送っていただきました。その中で、K.R. ラビンドランRI会長の演説の模様を少しお聞きください。

ラビンドランRI会長は、スリランカのコロンボ・ロータリークラブの会員です。2015-16年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」と、しました。演説の内容を、要約しますと。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長は、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、「世界へのプレゼント」となることのできる1年です。このために皆さんに与えられた時間は1年です。この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。今年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」

会長はさらに、「私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束しました。私たちは闘いを続け、必ずや勝利します」と続け、ロータリーが世界にもたらすことのできる影響の良い例がポリオ撲滅であると述べました。25年前にロータリーがポリオ撲滅の目標を掲げたとき、125カ国にポリオウィルスが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオによる麻痺障害の犠牲となっていました。現在残るポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国のみ。2014年に報告されたポリオの症例数はわずか333件だけでした。(ロータリーの友10月号によると、現在、アフガニスタン、パキスタンの2カ国のみ、2015年における症例数20~30件、本号の印刷時点)

続けて、ロータリーのもう一つの課題である会員増強についても触れました。「私たちの組織を形づくった基本に立ち返る方法を模索しなければなりません。それは、人生のあらゆる場面における高い倫理基準と、各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです」と述べ、「これらは、会員増強の足を引っばる障害と見られることがあまりに多いのが現実です。しかし、これらはロータリーの成功に欠かすことができず、なおざりにすれば、自らを危険に陥れることになるでしょう」と訴えました。

ブランディングの取り組みもロータリーの発展にとって極めて重要であり、「世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がある」と主張します。さらに、ロータリー財団への寄付を推進し、新会員を迎え入れ、現会員の積極的な参加を奨励することの重要性も強調する会長であります。「各課題に対する簡単な答えはありません。しかし、何とかして答えを見つけなければなりません。それを見つけるのは、ほかでもない私たちです」と訴えました。

最後に会長は「今こそ真の変化を成し遂げるとき」と述べ、次のようにしめくくりました。「これからの1年は、永遠に持続する“記念碑”を築くために与えられた時間です。この記念碑は、御影石や大理石に彫られるものではなく、今後何世代にもわたって人びとの人生と心に刻まれるものです。この機会は二度と訪れるものではありません。今このときを逃さずに生かそうではありませんか」と、訴えました。

さて、山田戒乗ガバナーは、地区のテーマを「心あたたまる、お接待をしよう」とされました。詳しくは、公式訪問でお話していただけたと思いますが、第一にロータリーの原点に戻って、職業奉仕を考えよう。会員増強に、危機感を持ってほしい。との事でした。10年後、このままだったら、当たり前のことですが、平均年齢は10歳上がることとなります。このクラブですと、75歳になります。

また、山田ガバナーは、R Iは、各種の賞を用意しています。「R I会長賞」「R I意義有る業績賞」「R I超我の奉仕賞」などです。挑戦してください。とのことでした。

今年から、会長賞を受賞するには、「必修項目」から2項目を完了し、さらに各カテゴリーにある項目をいくつか完了する必要があります。活動項目の中には、クラブがロータリークラブ・セントラルを通じて入力した情報により完了が検証されるものと、活動項目に取り組むと、自動的に認識されるものがあります。特記のない限り、これらの項目はすべて、2015年7月1日から2016年4月1日までに完了する必要があります。ぜひ、挑戦をしてください。

さて、私事ではありますが、ロータリーに入会させていただいたのは、昭和62年9月29日のことです。35歳で入会させていただきました。当時は最年少会員として、普段会ったこともない、経済界の重鎮の方々がたくさんいらっしゃって、居心地のよくない思いで座っていたような気がしています。

と申しますのも、知り合いは一人もいませんでした。もちろん紹介者の二名の方々は存じていましたが、その方を含めて、ほとんどが、おじさんでしたから、いつも、作り笑いで、皆さんの話を聞いていました。

当時、父が、ライオンズでしたから、私のイメージとして、「ロータリーとか、ライオンズは、エーカッコウしの集まり」と思っていました。ところが、ある日、隣に、今治の重鎮の一人が座られました。その事業所は知っていましたが、社長さんとは、初めてです。そんな社長さんが親しく話しかけてくださいました。しかも、「菅君」ではなく「菅さん」って、40歳ほど下の者に、話しかけるのです。普通だと話せない方が、親しく話しかけていただいている。「ロータリーは平等だというけれど」と思いながら、ロータリーの世界を味わっていました。

それから、ロータリーに対しての考え方が、少し変わってきたような気がいたします。

当時、今治商工会議所青年部の会長さんが、我がクラブにいらっしゃいました。そんな関係で、YEGに入れさせられ、いえいえ、入れていただき、それから、他の色々な団体にも入れていただきました。普通は、YEGとか、青年会議所から、ロータリーに入るのですが、私は逆でした。ロータリーの中に、YEGにも入っている人がいたお陰で、親しくお酒も飲めるような友達も増えてきました。委員長も色々させていただきました。そんな時、インターアクトの年次大会を、ホストクラブとして、今治工業が、主催することになりました。今治工業のインターアクトクラブは、我がクラブが提唱していましたから、いわゆる、スポンサークラブです。その時、よく分からないまま、副委員長をおおせつかり、大会当日は、休暇村に委員長と二人で泊まることになりました。その夜、色々とお話をいただき、ロータリーの事もですが、人生の勉強もさせていただきました。ロータリーって、自分が思っていたのとは、少し違うと思いました。

年月が経つにつれて、色々なロータリーの会合とかにも出席しました。ある時、こういう話を聞きました。ある会長さんが、幹事さんに「わしと、お前にしか出来ないことはするな。次からの会長が、迷惑する」と言ったそうです。一生に一度の会長の時くらい、ええ格好したらいいではないか。と思っておりましたが、ダメと言うのだそうです。ロータリーは、続いていかなければ、ならない。いくら会長でも、次の事を考えずに、好き勝手なことをしてはいけない。と言うのです。

私のロータリーとか、ライオンズに関する考え方は、変わってしまいました。「これが奉仕って事なんだろうか」って。28年間のロータリー生活の中で、沢山のことを、ロータリアンの方々から教えていただきました。情報委員長の、大西元ガバナー補佐もおっしゃっていますが、まさに、例会は人生の道場だと思います。ここで、その内の二つを紹介させていただきます。

一つは、「例会出席」です。言うまでもなく、出席なしに、親睦はもとより、何一つ得ることも、与えることも出来ません。

元R I会長の、ガイ・ガンデイカーは、言っています。

お互いに自分を磨き合うという教育的機能が、ロータリー運動の本体である。すなわち「切磋琢磨」がロータリー運動の本体であります。あたかも昼のあとに夜がつづくようにロータリーの実践がはじまるのです。また、あなたが自分自身をロータリーに与える分だけ、あなたは恩恵を受けます。しかし、あなたは、自分が尽くす以上のものをロータリーから得ることはできません。

私が教えられたもう一つは、「ロータリーバッジをつける」ことです。私も最初は、ロータリーの会合以外では、はずしていました。先ほど話したように「ロータリーは、偽善者の集まり」と思っていたのですから、そんな恥ずかしい団体に入った証憑であるバッジは、つけられませんでした。ところが、間違いでした。ロータリーは、そんな所では、なかったのです。ロータリーバッジをつける意味は「ロータリーは素晴らしい。そんな会員になれたのだから、張り切ってバッジをつけよう」それも違うと思います。

私は、バッジをつけるということは、「戒め」だと思っております。

「ロータリーの行動規範」や、「ロータリーの目的」、「四つのテスト」などと照らし合わせ、今の自分の言動が正しいかいつもチェックをすること。高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素なのです。そのことをいつも忘れないために、ロータリーバッジをつけるのだと、私は思います。

ロータリーの理念は不変のものです。ロータリーの本質は変わるものではありませんが、その表現方法は、時代のニーズに応じて変わっていきます。

根底に流れる使命を忘れなければ、行動や表現がぶれることはありません。職業人として、また地域のリーダーとして人々を大切にすることをもち続けていきたいと思っております。

バッジについて、先輩から言われたことがあります。

次の場合は、ロータリーバッジを外して行動しなさい。「今治の繁華街であります、松本町あたりに飲みに行くとき、海外からの帰り、税関を通るとき、この2つの時は、バッジを外した方がいい」と、言われました。

もちろん冗談ですが、選ばれたロータリアンとして、ロータリー精神にのっとり、バッジをつけて、いつも行動したいものです。

ご清聴、ありがとうございました。



講話中の菅 道男ガバナー補佐



例会終了後に真剣に学んだクラブ協議会

第2954回 例会 記録 平成27年10月2日

開会 中野 哲 会長

来賓紹介

国際ロータリー第2670地区愛媛第一分区  
ガバナー補佐 菅 道男氏  
随員 近藤郁二氏

来訪ロータリアン紹介

(川之江) 山川浩一郎氏

出席報告

出席会員 (38名中) 31名  
出席率 81.58%  
第2952回修正出席率 91.67%

会長の時間

○新入会員紹介

四国電力(株)四国中央営業所

所長 白石英之 氏  
紹介者 篠原聡一 会員

うま法律事務所

弁護士 藤田浩晃 氏  
紹介者 園部忠幸 会員



白石英之君



藤田浩晃君

○誕生日お祝い

今村定生君 (16日)、曾我孝志君 (19日)  
山内一正君 (28日)、藤田順子様 (7日)

幹事報告

・国際ロータリー～

- ①10月のロータリー・レートのお知らせ  
10/1より、\$1=¥120
- ②新会員推薦者のための認証プログラムについて

・ロータリー文庫～

- ①クラブHPにて「ロータリー文庫」リンクのお願い
- ②クラブ資料寄贈のお願いと公開について

・ガバナー事務所～

- ①2016年RI年次大会ソウル大会  
参加旅行のご案内【予告版】
- ②ガバナー月信10月号のお詫びと訂正について  
・3ページ 公式訪問随員記  
松山RC (誤)創立68年→(正)創立78年

- ・14ページ 地区大会のご案内  
(誤)2016年度-2017年度→(正)2015-2016年度  
(誤)2017 5月13日(金)→(正)2016 5月13日(金)

・例会変更通知  
(新居浜南)

①日時 10月6日(火) 移動夜間例会

場所 愛媛果汁食品

②日時 10月13日(火) 特別休会

(川之江)

日時 10月13日(火) 休会(地方祭)

・大洲RC～例会場及び事務局の移動に  
ついてお知らせ

10月1日より、大洲市民会館2階に変更

- ・愛媛県体育協会～愛媛国体PR葉書
- ・四国中央市国際交流協会～会報誌10.11月号

例会行事

ガバナー補佐講話

菅 道男 ガバナー補佐

誕生祝 ～ 今村定生 君、山内一正 君、  
藤田順子 様

ニコニコ紹介

菅 道男G補佐～クラブ協議会の記念として。  
近藤郁二随員

中野 哲君～先週、久しぶりに夫婦水いらず  
で、インドへ旅行してきました。  
予想通りの暑さとカレー漬けの  
毎日で、そろそろ日本食が恋し  
くなった4日目、妻が誇らしげ  
に取り出した日本から持参のカッ  
プ麺は、まさかのカレーヌード  
ルとカレーどん兵衛でした。又、  
妻に惚れ直しました。

石川 勉君～先日のシルバーウィークに7月  
の北海道に続いて、7日間の九  
州一人旅へ行って参りました。

誕 生 祝～今村定生君、山内一正君、  
藤田順子様

10月16日プログラム予定

ガバナー公式訪問